

ハート基金&いちサポ補助金
いちかわ市民活動サポート制度



いつも新しい流れがある 市川

2021/12月
No.006

活動
特集

市民活動に活用
「いちサポ補助金」

着物リメイク研究会

～市民活動を通じたSDGsへの寄与～



着物リメイク
第13回 ファッションショー

市民活動全体に対する総合的な支援に向けて
市は、市民活動団体が行う事業のサポートを行うとともに
「①活動する市民を増やす」
「②市民活動のファンを増やす」
といった市民活動全体に対し、総合的なサポートを行うため
「いちかわ市民活動サポート制度（通称：いちサポ）」を
平成28年度に立ち上げました。

— 掲載項目 —

いちサポ補助金交付団体 活動紹介 / いちかわ市民活動サポート制度について

【特集】いちサポ補助金交付団体 活動紹介



写真提供：市川よみうり新聞社

いちサポ補助金

×

リメイクによる
価値の再認識

着物リメイク研究会

会長 阿部 嘉子氏

当会の創設者。大学にて被服全般について学び、平成19年(2007年)、着物のリメイクを通し、親睦や豊かな人間関係を築くとともに、地域文化の創造と発展に貢献することを目的に会を設立。

あまり着られることがなくなった日本の伝統文化である和服。この和布の良さを活かしたリメイクを施し、いま着ることのできるものとしてよみがえらせる。世界共通の目標である「SDGs」にも寄与する活動となっています。

インタビュー

— 会を設立しようと思ったきっかけは？

阿部氏：呉服屋出身で、洋裁店を経営していた母から着物で洋服を作っ
てほしいと言われ、作ったのがリメイクをするきっかけとなりました。
日本伝統文化の価値ある和服が、生活様式の変化に伴い、もう
着ることがなくなると**処分されることが**多くなっていくことに**非常
にもったいなさ**を感じたこともきっかけです。
そこで、リメイク方法を研究し、価値の再認識を含め、いまの生活
に活かしていくことを目的に会を設立しました。

活動のアレコレ！
ご本人にお聞きました！

— 具体的にはどのような活動を？

阿部氏：リメイクについては、和布の良さを活かし、いまの時代に着ること
のできる洋服、バッグ、帽子などに作り替える技術を学べる講習会を
実施しています。
さらに、**リメイクした洋服を実際に着て**、皆さんに見ていただく場とし
て、**ファッションショーの開催**も行っており、披露することで観客の方
から頂ける感嘆のお言葉に、**喜びや楽しさを感じることで、参加され
た方々の生きがい**にもつながっています。

— この活動の中で感じることは？

阿部氏：リメイクは、例えば父や母の着なくなった着物を仕立て直すことで、
親の思い出を引き継ぐことができます。
自己表現だけに留まらず、これまで着ていた方の思い出も引き継げる
ことは、非常に貴重な体験になると感じます。
また、**SDGs**という世界共通の新たな目標の中で、リメイクという点
が改めて注目されていることから、引き続き**市民活動を通して、
自分ができる活動として、少しでも貢献**できればと考えております。

補助金の流れ

対象：NPO法人や任意団体

<活動の計画>

年間の活動を会員みんなで検討し、計画を立てます。
また、補助金の活用についても検討します。

<補助金の申請>

補助金を受ける目的、活動することで地域にどれだけの利益をもたらすことができるかを申請書でPRします。



<補助金の活用>

実際の事業・活動に必要な経費に対し、補助金を充当することや、これまでから拡充した経費に充当することで、充実や発展を目指します。

本冊子ご紹介の団体での活用例

報償費	謝礼金
通信運搬費	郵便料
使用・賃借料	会場使用料

<実際の活動>

活動計画や補助金申請の際に記載した事項に則り、実際の活動を行います。



<活動実績の報告>

活動の報告、補助金を活用した費目に係る収支決算書を作成し、実績の報告を行います。

<補助金の受取>

実績報告後、確定した補助金額を市から受け取ります。
※概算払で事前に受け取っていた場合、差額の返金が必要となることもあります。

■ 詳しい内容については「補助金ガイドブック」をご覧ください
ボランティア・NPO課の窓口でお渡し、または市公式Webサイトからもご覧いただけます。

いちかわ市民活動サポート制度とは？

NPO法人はもちろん、
任意団体まで幅広く応援します

【市民活動を支える2本柱】

1. 市川市市民活動総合支援基金（愛称：市川ハート基金）

→ 市民からの寄附で市民活動団体を支えるしくみ

2. 市川市市民活動団体事業補助金（通称：いちサポ補助金）

→ 社会貢献に係る事業費への補助をするしくみ

1. いちかわハート基金 の流れ

市民等から
の
ふるさと納税

企業等から
の
指定寄附

いちかわハート基金

使い道の一例

① 団体への備品貸出

市民活動団体がイベントで使用する備品を市が購入し、貸出ます。

簡易テント、スピーカー、マイク、
プロジェクター、PC など

② 活動センターの充実化

作業スペースの充実化として、PCの設置や裁断機、紙折り機等の設置しています。

印刷機も設置し、費用を抑えて印刷することができます。

③ 活動支援講座の開催

財政面、チラシの作成など、講師を招き、団体向けに講座を開催しています。

2. いちサポ補助金 の流れ

市民活動団体からの申請

審査会等での審査

市民活動団体が実施する
社会貢献活動の事業費用
の一部を補助します

事業の考え方

- ・自主的自発的に行われるもの
- ・市内において実施するもの
- ・営利を目的としないもの
- ・市民を主たる対象とするもの
- ・地域の課題、問題が解決されるもの

*対象経費の1/2

*上限30万（3回まで）

*4回目以降は別途審査

